

では次に「めまいと眼科」の関わりについてですが…めまいを生じると「見え方に変化がある」ために「取りあえず眼科でしょ！」と思う方って…結構多いようです。また以前から他の疾患(白内障とか緑内障とかアレルギー性結膜炎とか)で眼科に通院している場合には「最近なんだか『めまい』がするのよねー。そういえば目薬が無くなって眼科に行かなきゃならないし、ちょうどイワイー！軽いめまいなんだし眼科でしょ！」という感じでしょうか？しかし、この行動は一般には誤った行動と考えて頂いた方が良いです。『めまい』の原因が眼科

で扱う疾患である事はほとんどないのです！CLINITIAN という製薬会社のエーザイさんが発行している臨床医向けの定期刊行物がある(ネットにも掲示されていますが、一般の方は閲覧不可かもしれません)のですが、1990年の「特集・臨床めまい学・各科とめまい」という項目に「眼科とめまい」という文章(文責・前帝京大学眼科教授の丸尾先生)があります。その文章の冒頭文は…

「めまいあるいは眼が回ると訴えて眼科を訪れる患者もあるが、眼に原因があることは少ない。」

まあ、バツサリとこんな感じ(笑)です。つまり、私のような一般的な眼科開業医にとってめまいの訴えを患者さんから相談されることは結構多いのですが、それに際しての最初の作業は「その訴えの相談窓口は眼科ではないのですよー」と説明するという事になる訳です。さて、それでは眼科じゃないならどこに相談すれば…という事になります。実は「日本めまい平衡医学会」という組織があります。インターネット上にホームページ <http://www.memai.jp/> もありますので参考にして下さい。まずは、そのホームページの「めまいの Q&A コーナー」を参照してみましょう。 @@@@ 今回のフジタガンカニュースは、紙面の関係上ここまでです！なんだか、寒かったり暑かったり…中途半端な時期なんでしょうね、でも桜の満開もそろそろですよー！卒業式も終わったようすし、もう4月！新生活を迎える方にはドキドキな季節ですよー。プロ野球も開幕、今年はリオのオリンピックもありますし、その四年後は東京オリンピックですね！後は、花粉でしょうか？そろそろひと段落…まだしないですよー(笑)。当フジタガンカニュースのバックナンバーには、花粉症関連の記載も沢山あります。ご興味のある方は当院の受付にて「藤田眼科のアレルギー解説のセットが欲しいです」と言って頂ければ用意しますので、遠慮なく仰ってくださいね！宜しくお願いします。

今月のお知らせ

都合により、**今年1月から**は**代診医師の診療は全て中止**となり、藤田眼科での診療は**全て院長が担当**することになります。急な変更で申し訳ありませんが、ご理解の程お願い致します。



<http://www.fujita-ganka.com>



FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
F-Vision

① **042 (645) 0575**
② **042 (642) 2911**

「眩暈(めまい)」は…「げんうん」とも読めるんです①

今回のフジタガンカニュースは『眩暈(めまい)』について取り上げてみたいと思います。「めまい」という単語は感覚的な症状を説明した言葉ですので…具体的な表現という事になると「フラフラする、ふわふわする」とか…「クラクラする、グラグラする」とか…「クラッとした」とか「目が回る」とか…表現の仕方は人それぞれ個性的だったりもしますが『めまい』とはこうした「様々に表現される感覚の総称」という事になるんだ、と僕は考えています。また、前回号までのフジタガンカニュースで取り上げた「飛蚊症(ひぶんしょう)」と同様に、あくまでも様々な疾患が誘因となる「症状病名」という事になり『めまい』があれば、即座に単一の疾患として診断できるという事はありません。また、インターネットで検索していると『めまい』の症状を細かく分類して、それぞれに診断を当てはめるような表を提示しているホームページなんかもあったりします。例えば「めまいと立ちくらみは異なる症状だから疑う病気が違う」みたいな事なのですが、上に書いたようなそれぞれの症状を患者さんの口語的な訴えから正確に判断することは困難でしょう。私の個人的な判断ではこうした一連の症状は「一括(ひとくくり)の症状」として捉えるべきだと思っています。そうした意味では「患者さんからの症状の詳細を聞き取る事」にはあまり意義は無く、考えられる様々な疾患を否定するための検査を行う…なんだか、単なる偶然なんですけど…やはり飛蚊症に対する対応とよく似ているような気がします(笑)…。ちなみに、何でこうした症状の詳細を分類して区分したい人たちがいるかという、最初に疾患を想定してそこからの症状を逆算するとそういう解釈がしなくなる訳です。答えを知った上でクイズを考えるみたいな…実際は診断がわからない状態から始まるので、僕は少し違うと思うんですよ。つまり、『めまい』の原因が脳外科的な物の場合と耳鼻科的な物の場合(詳細は後々説明致しますので、少々お待ちください m(__)m)とでは、担当する医師が異なってしまうため医療者の側としては最初に「区分け」をする方が便利なんだと思います。でもそれはあくまでも医師の都合なので、患者さんの側からすればどっちつかずの「一括りの症状」として扱った方が良いと…僕は思います。

ちなみに『めまい』を生じた方があった場合に、その原因としては①脳外科(神経内科、脳梗塞や脳腫瘍を扱う)で取り扱う疾患②耳鼻咽喉科で取り扱う疾患③循環器内科(心臓と血圧を扱う)で取り扱う疾患④精神的なストレス⑤眼科的な要素(ただし非常に頻度は低い)と…私個人は考えています。つまり、「めまいは眼科では取り扱わない」というのが一般的な前提なのですが、意外に相談を受ける事は多く…今回の解説が必要と考えた訳です。

まずはウィキペディアで『めまい』という単語を検索してみましょう(^^)/ * * * * *
めまいは、目が回るようなくらとした感覚の総称である。眩暈・目眩・眩冒などと書く。眩は目がかすみ目の前が暗くなることで暈はぐるぐる物が回ってみえたり、物が揺れ動いて見えること。目眩は目がかすみ頭がくらくらすること。眩冒はひどく頭がくらくらして目の前が暗くなることとなる。単にめまいと言われたとき、人によって表現したい現象が異なっていることがめまいの特徴である(=様々な症候を示している)。医学的には視覚、平衡感覚と固有感覚の不統合によって感じる感覚と言われている。* * * * *
という感じですね。あくまでもウィキペディアでの情報ではありますが非常にまとまった表現をしてくれているのかな？と思います。